

箱根駅伝総合2位 22年ぶり“表彰台”



1年生の溜池一太選手(左)は1区4位で、2区の吉居大和選手に襷を託す



3区区間賞の中野翔太選手(左)が、ルーキーの4区・吉居駿恭選手の背中を押した



5区の阿部陽樹選手は2年連続の山上り



4年連続の6区山下りとなった若林陽大主将(左)から千守倫央選手へ、4年生同士の襷リレー



8区の中澤雄大選手(左)から、9区の湯浅仁選手へのリレー



フィニッシュした10区・助川拓海選手(右)を同じ4年生の田井野悠介選手が出迎えた

1月2、3日の第99回箱根駅伝で、中央大学は10選手全員が区間7位以内の安定した力を発揮し、総合2位(往路、復路とも2位)となった。総合3位以内の“表彰台”は77回大会以来22年ぶり。往路は2区の吉居大和選手(法3)、3区の中野翔太選手(法3)が区間賞の力強い走りを見せ、復路は最上級生の4年生4人と、次期主将の湯浅仁選手(経済3)が真紅の襷をつないだ。(11～15ページに関連記事)

(写真はすべて月刊陸上競技提供)